

門司麦酒煉瓦館の利活用に向けたサウンディング調査

基礎資料

目次

1. 門司麦酒煉瓦館及び門司赤煉瓦プレイスの概要について.....	1
(1) 門司麦酒煉瓦館の概要.....	1
(2) 門司赤煉瓦プレイスの概要.....	3
2. 門司赤煉瓦プレイス周辺環境.....	4
(1) 交通状況.....	4
(2) 施設分布状況.....	5
(3) 周辺の建物用途.....	9
(4) 周辺の土地価格.....	10
(5) 周辺の人口.....	11
(6) 法規制状況.....	13
3. 門司麦酒煉瓦館の現況.....	14
(1) 利用者及び収支状況.....	14
(2) 施設の現状.....	15
(3) 展示物の現状.....	16
4. 麦酒煉瓦館以外のプレイス内建物.....	19
(1) 赤煉瓦交流館（倉庫棟）.....	19
(2) 旧サッポロビール醸造棟.....	20
(3) 赤煉瓦物産館（組合棟）.....	22

令和4年8月

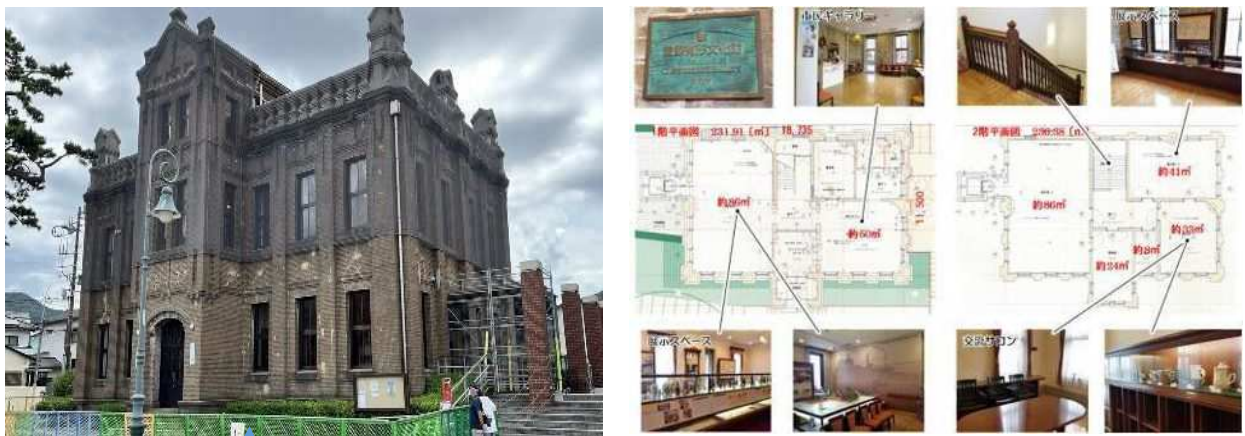
1. 門司麦酒煉瓦館及び門司赤煉瓦プレイスの概要について

(1) 門司麦酒煉瓦館の概要

大正2年に帝国麦酒株式会社（現、サッポロビール株式会社）門司工場として建築された煉瓦建造物のひとつ。国の登録有形文化財であり、日本遺産及び近代化産業遺産にも認定されている。

平成17年、大里地区に「ビール工場発展の歴史等が体感できる展示を行う観光施設」「イベント等や市民の憩いのスペースとして活用することで地域の活性化に寄与する施設」としてリニューアルオープン。


現在は、指定管理制度による管理運営（入館料や駐車場収入等により運営費を賄う完全利用料金制）。管理者は「NPO法人門司赤煉瓦倶楽部」（期間は令和5年3月31日まで）。



【門司麦酒煉瓦館】
建築年度：1913年 主な構造：鋼材煉瓦造
敷地面積：890㎡ 耐震診断：実施済 耐震補強：実施済



【駐車場】
収容台数：148台
延べ面積：4,449㎡

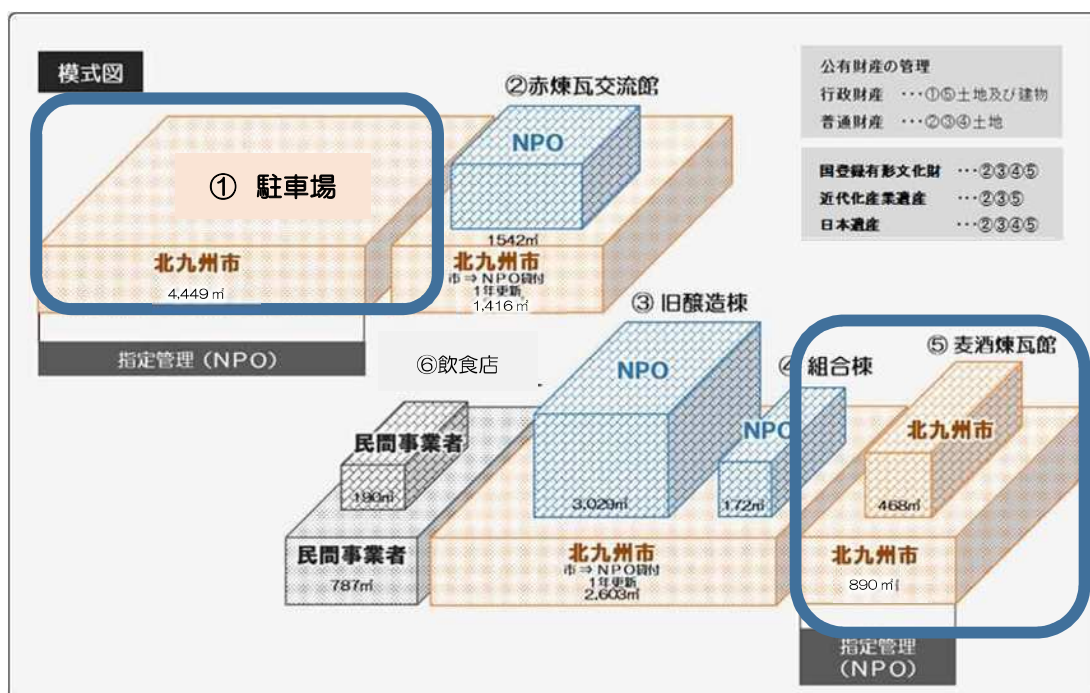
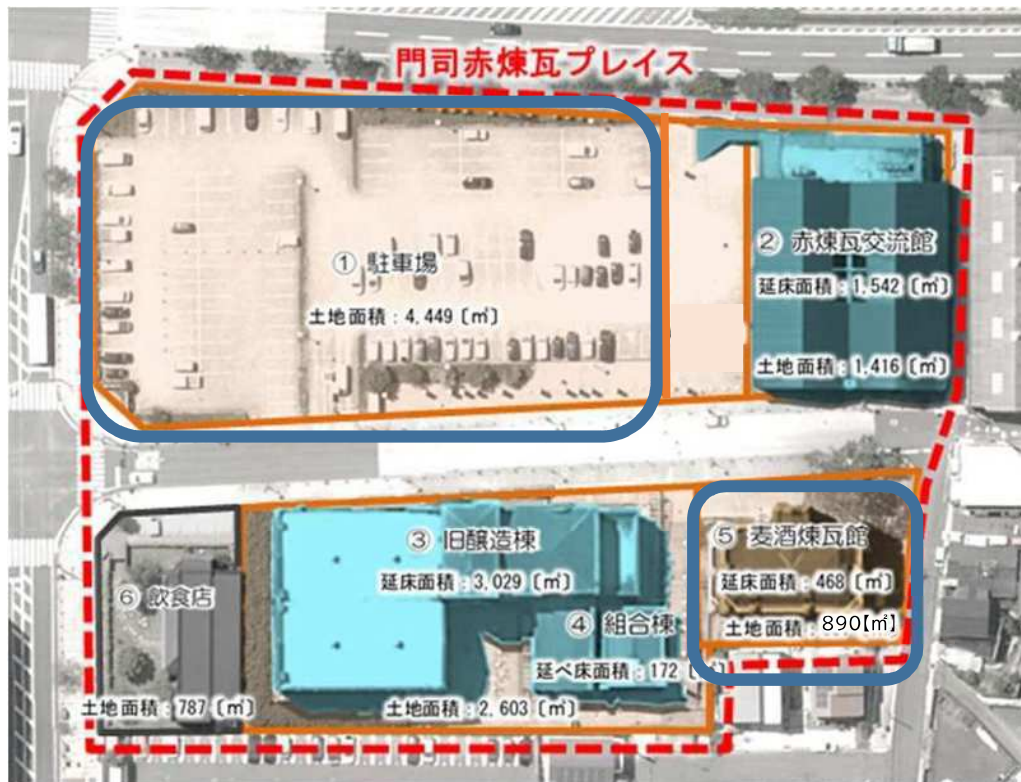
※  今回のサウンディング対象エリア

【施設概要】

所在地	門司区大里本町三丁目6番1号
建築年月日	大正2年4月
供用開始年月日	平成17年5月21日
構造	煉瓦造2階建
施設規模	延床面積 468.29㎡ 敷地面積 5,339㎡（煉瓦館 890㎡、駐車場 4,449㎡）
主要施設	<ul style="list-style-type: none"> ・門司麦酒煉瓦館 ・駐車場（148台収容）
利用時間	9:00 ~ 17:00
休業日	年末年始（12月29日～1月3日）及び設備点検日等
使用料 (利用料金)	<p>【入館料】</p> <p>個人：一般 100円、4歳以上中学生以下 50円 団体：一般 80円、4歳以上中学生以下 40円（30名以上）</p> <p>【駐車場】</p> <p>1台1回（1日以内） 普通車 駐車開始から30分間は無料 以後、30分又はその端数ごとに100円とし、上限500円 大型車及び中型車 1,000円 回数券（5,000円分） 4,250円</p> <p>【市民ギャラリー】</p> <p>9時～12時/220円 12時～17時/380円 17時～22時/600円</p>
指定管理者	特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部（令和5年3月31日まで）
指定管理者の 業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理に関する業務 ・施設の利用の許可に関する業務 ・施設の集客に関する業務 ・その他管理運営に必要な業務 <p>（完全利用料金制により、入館料及び駐車場使用料等は、指定管理者が施設を管理していくための管理費用に充てられ、指定管理者の収入になる。）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年(2007)7月31日 国の登録有形文化財に登録 ・平成21年(2009)2月6日 国の近代化産業遺産群に認定 ・平成29年(2017)4月28日 日本遺産「関門ノスタルジック海峡」に認定

(2) 門司赤煉瓦プレイスの概要

本エリアは、門司麦酒煉瓦館のほかに「赤煉瓦交流館」「旧醸造棟」「組合棟」など煉瓦建造物が複数存在し、この一帯で「門司赤煉瓦プレイス」として運営されています。また「麦酒煉瓦館」以外の3施設は、民間事業者が所有しています。



※ …… 今回のサウンディング対象エリア